



教育目標

- ・げんきな子
- ・かんがえる子
- ・なかよくする子
- ・かんばんる子



令和5年1月30日
港区立中之町幼稚園
園長 大橋 美都子
<http://nakanochokgminato-kyedj.jp/>

生活発表会に向けて

園長 大橋 美都子

最強寒波の到来で、幼稚園の様々な場所に氷が張ったり氷柱ができてしまいました。子どもたちは、普段経験したことのない自然事象に遭遇し、興味津々。触ったり、踏んだり、ザクザク掘り起こしたり…朝のひとつときは大興奮の時間となりました。ひととおり遊んだ後は、明日も氷ができるように、どこに置いておくとよいのか、どの入れ物がよいのか、水に葉っぱや砂を入れたらどうか、などと試す姿が見られました。予測や見通しをもち、自分なりに考え、試行錯誤しながら探究していく姿は、研究者が実験・検証しているのと同じです。まさしく小さな科学者です。寒い季節ならではの貴重な体験ができるよう教師もいろいろな環境や仕掛けを準備していきたいと思います。

今、子どもたちは生活発表会に向けて劇遊びの取り組みが始まりました。3歳児太陽組は、何かになりきって自分なりの表現をすることを楽しむこと、4歳児地球組は、お話のイメージを友達と共有しながら言葉や動きで表現することをねらっています。

5歳児宇宙組は、自分たちで劇の題材を選び、ストーリーやセリフを学級みんなで考えたり、同じ役の友達と相談したりしながら進めています。背景や衣装、小道具、大道具も自分たちで考え、アイデアを出しながら製作しています。学級の一人ひとりが脚本家、演出家、衣装、持ち道具担当、そして、演者なのです。友達のセリフや動きも頭に入っているようで、代役だって可能です。劇遊びは、台本があって、その通りに発表することがねらいではありません。子どもたちは、日々の取り組みの過程の中で、自信をもったり、葛藤したり、時には意見の食い違いがあったり、と様々なことを経験しています。それがあからこそ、やり遂げる満足感や達成感が味わえるのです。当日は、形になったものをお見せするのですが、子どもたちが日々積み重ねてきた過程を想像しながらご覧いただければと思います。

今年度の生活発表会は、ご自分のお子さんの学級だけでなく、同学年他学級の劇も鑑賞していただけます。ぜひ、一人ひとりの表現している様子を温かい雰囲気でご覧いただき、成長を感じていただければ幸いです。



寒さの中、いろいろな氷ができていました。不思議だなあ！

普段楽しんでいるごっこ遊びが
劇遊びにつながっていきます